

槌音

役場屋上から望む町の復興の様子（7月9日撮影）

復興事業の高台移転予定地

遺跡調査を実施しています

町では、復興に向けて土地区画整理事業や防災集団移転促進事業など、多くの復興事業が進められています。工事予定地に遺跡に該当する場合には、手続きや試掘などの調査を行わなければなりません。遺跡とは、土の中に埋もれている文化財のことで、先人の生活が残っている貴重な歴史遺産です。現在、本町には517カ所の遺跡が確認されています。

今後、予定されている復興事業

業の工事予定地のうち39カ所が遺跡に該当し、調査が行われています。調査で遺構や遺物が確認された場合は、本調査が行われます。防災集団移転促進事業に関係する織笠地区の調査は終了し、現在は船越地区の役場船越支所の山林（焼山）と船越小学校跡地の山林（岩ヶ沢）の調査を行っています。

試験調査は、長期派遣職員、県の文化財専門員が中心となり、約10人の作業員でスコップや



発掘作業を行う作業員の皆さん

台湾赤十字組織からの復興支援

再建の大沢保育園が地鎮祭

7月11日、大沢保育園改築の地鎮祭が行われました。地鎮祭には保育園、工事関係者など、約20人が出席。事故なく無事に園舎が完成することを祈りました。

大沢保育園は、震災で園舎が浸水したことにより半壊。地盤沈下のため15センチ傾きました。さらに園舎を建築してから50年が経過していることから、補修が

困難となり改築することが決定。本年12月が完成予定です。

この改築は、世界各国の赤十字・赤新月社から日本赤十字社に寄せられた救済金のうち、台湾赤十字組織からの資金を活用して実施します。この復興支援は、大沢保育園改築のほか、わかき保育園の改築や放課後児童クラブの建設など、児童福祉の支援に充てられます。



県教育委員会文化財専門員
(滋賀県より派遣)

北原 治さん

古代の先人も数多くの災害を乗り越えてきました。わたしたちも古里の歴史を後世に伝え続けることが重要です。1,000年後に住んでいる人に感謝されるまちをつくってほしいと考えます。



締結後の大川市長および市職員との記念撮影（上写真）／協定書を手に工藤町長（写真右）と固く握手をする沼崎町長



災害時の連携強化を固く結ぶ 応援、物資供給の協定締結

町では、昨年の東日本大震災を受けて、災害時の救援物資や人的支援などの災害復旧対策を円滑に進めるため昨年度から相互応援、物資供給の協定締結を進めています。6月21日～7月9日までに災害時の相互応援協定を2件、物資供給に関する協定を1件締結したのでお知らせします。

町では、6月21日に青森県平川市（大川喜代治市長）、22日に青森県南部町（工藤祐直町長）と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

この協定は、災害が発生した場合に被災した自治体の要請に応え、応急対策および災害復旧対策を円滑に遂行するために定めたものです。主な内容は▼食料や飲料水、生活必需品の提供▼被災者の救出、医療や防疫に必要な機材・資材の提供▼被災者を一時避難させるための施設の提供▼応急復旧に必要な職員の派遣——などです。

7月9日には、NPO法人コメリ災害対策センター（理事長）と「災害時における物資供給に関する協定」を締結しました。この協定は、災害発生時に被災自治体からの要請によ



コメリ災害対策センターの笠原治清事務局長（写真右）と連携を約束

り、必要な物資を迅速に提供し、物資調達のサポートをいただくものです。同団体は、株式会社コメリの社会貢献事業として、地域の緑化活動などに毎年利益の1%を還元する「コメリ緑資金」の助成を受けて、平成17年から活動を行っています。

協定を締結した自治体はどんなところ？

青森県平川市

平川市は県南部、津軽平野の南端に位置しています。平成18年に尾上町・平賀町・碓ヶ関村が合併し、誕生しました。3地域の米や高冷地野菜、温泉などの豊富な資源を生かしたまちづくりが進められています。また、旧平賀町とは友好親善都市を締結していました。人口は33,600人（平成24年6月末現在）。



青森県南部町

青森県南部町は県南東部に位置し、八戸市の西部に隣接しています。町の南西部には標高615mの名久井岳を臨み、中央部には馬淵川が流れ、自然豊かな風景が広がっています。特産品は、サクランボやリンゴ、食用菊などで、全国唯一の町営青果市場が運営されています。人口は20,387人（平成24年6月末現在）。